

## はじめに

日本政府は、2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする脱炭素社会・カーボンニュートラルの実現を目指す方針を示しました。島根県知事は、2020年11月「2050年温室効果ガス排出実質ゼロ」を長期的な目標に掲げることを表明し、全国200以上の自治体が同様の宣言をしています（2021年1月現在）。

こうした脱炭素社会づくりの手がかりとして、県内の児童・生徒・学生が取り組む地域活動を島根県地球温暖化防止活動推進員が取材し、“自然”、“環境/暮らし”、“連携”といったテーマ別に「脱炭素チャレンジ集」としてとりまとめました。

環境省では、第5次環境基本計画（2018年～）のなかで、複数の課題の統合的な解決というSDGsの考え方も活用した、「地域版SDGs」とも言われている地域循環共生圏という考え方を提唱しました。このチャレンジ集では、これらSDGsの実現に向けた取り組みとしても紹介しております。

この事例集をきっかけに、地球を守る地域活動に興味・関心を持っていただければ幸いです。